



長野白樺ライオンズクラブ

334-E 地区 2R3Z

●第44期 ● No.159 2018年3月発行

発行責任者／会長 大田 吉宝

編集責任者／PR委員長 中澤 和明

事務局／〒380-0836 長野市南県町685-2

長野県食糧会館4F

TEL026-235-3977 FAX026-217-2005

チャリティーゴルフ大会報告

恒例のチャリティーゴルフ大会が、あいにくの雨にもかかわらず 198 名の方にご参加をいただき
盛大に開催されました。ご参加の皆様ありがとうございました。



チャリティーゴルフ大会 優勝のごあいさつ

株式会社アドバンス 竹内 要彦

このたびは、10月19日に長野国際CCで開催されましたチャリティーゴルフ大会において、たくさんの強豪ひしめく中、優勝という最高の賞をいただきました。大変な驚きとともに喜びを感じております。

また、この大会を通して、主催者の長野白樺ライオンズクラブの活動に微力ながら携わることができました。大変うれしく感じております。このような貴重な場を設けてくださったクラブ会員の皆様、そして大会実行委員の皆様に心より御礼を申し上げます。

今回ご参加の皆様と、長野白樺ライオンズクラブのますますのご隆盛を祈念いたしまして、優勝のあいさつとさせていただきます。

長野白樺ライオンズクラブ 秋季ゴルフコンペ開催

参加者代表 江本 日東

10月19日、長野国際CCにおいて当クラブ主催のチャリティーゴルフ大会と並行して秋季ゴルフコンペが開催されました。

朝から冷たい雨が降る天候にもかかわらず29人の会員による熱いプレーが繰り広げられました。競技は新ペリア方式で行われL.小林克己が優勝しました。

当日プレーをされた会員の皆様、設営や準備、当日の接遇や運営にご尽力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



優勝したL. 小林克己

ゲストスピーチ



2017年9月13日

長野市聴覚障害者協会
手話対策部長
吉池 隆幸様(左)

長野手話サークル・通訳部
宮津 治美様(右)



2017年11月8日

「自立援助ホームでの子供たちの生活」
児童自立援助ホーム
こどもステーション
いちにのさん ホーム長
高橋 市子様

林ライオン、長い間ご指導をいただきありがとうございました。
会員一同、心からご冥福をお祈り申し上げます。

チャーターメンバーのL.林謙一郎 2月10日ご逝去

故 L.林謙一郎を悼んで 会長 大田 吉宝

故L.林謙一郎は、1974年に誕生した当LCのチャーターメンバーで、90年7月に第17代会長に就任されました。いかなる役職につかれても、クラブのため、会員のため



クラブ例会でスピーチを行うL.林
(2017年11月22日)

に身を削って任務を遂行され、会員の良き相談相手になるなど、優しく温かく、そして凜々しく振る舞うL.林は、クラブにとってかけがえのない存在でした。

L.林の特筆すべき活躍

の一つは、79年2月の南淡LCとの姉妹クラブの提携にご尽力いただいたことです。L.林が若き頃、31歳から7年間、医師として淡路島の最南端、当時の福良町で身を徹して診察に当たることができたのも、淡路島の皆さんの豊かな人間性、情熱的ともいえる感性がL.林の心に響き、その思いが南淡LCとの友情を深める姉妹提携につながったものだと思います。

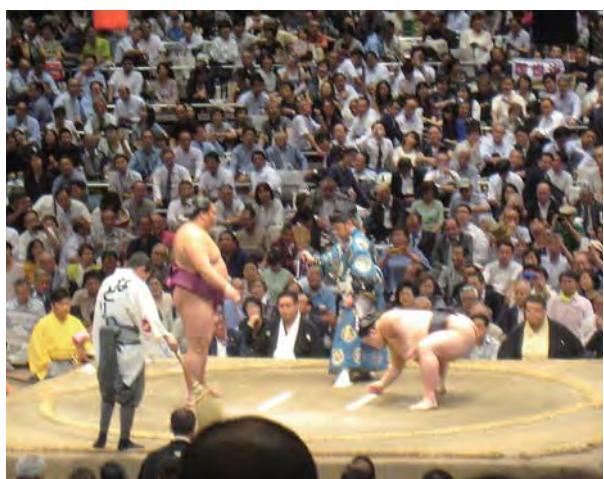
誰一人として予期せぬ突然のご逝去されたことは、誠に痛恨の極みであります。心より哀悼の意を表し、故人の生前のご功績を偲び、また、ご冥福をお祈りいたします。

国技館で大相撲観戦

LPの会会長 大田 陽子

9月20日、LPの会旅行は大相撲観戦です。日比谷公園内の閑静なレストランで食事の後、国技館で総勢16名が、御嶽海の応援タオルを掲げ、声を張り上げ、盛り上りました。

前のマス席のおじさんも、我々が長野県から来たと知り「ごーえーどー、今日だけみたけうみ~」と妙な応援を。御嶽海は敗れましたが、我々の応援を力にして8勝7敗と勝ち越したのだと信じています。マス席の確保、交通機関や当日の配慮、多くの方のご尽力、ありがとうございました。



信州ブレイブウォリアーズB2リーグ公式戦 献血・薬物乱用防止アクティビティ

保健福祉委員長 今井 剛

平成30年1月20日 13:00 ~ 17:00 ホワイトリングで信州ブレイブウォリアーズB2リーグ公式戦が行われました。暦の上では大寒でしたが、天候にも恵まれ会場は選手・観戦者の熱気で包まれていました。

献血センターからは、献血者全員にグッズのプレゼントがあるということで盛り上がっておりました。結果は、受付者33名、献血者27名、採血量：1万800mlでした。

アクティビティにご参加いただきました皆様、本当にありがとうございました。次回の3月31日・4月1日、vs青森ワツ (ビッグハット) もよろしくお願ひいたします。



新会員紹介



入会式
2017年9月27日
L.松本 夏樹

このたび、歴史と伝統ある長野白樺ライオンズクラブに入会させていただきました松本夏樹と申します。仕事は、一般建設業の解体工事業を営んでおり、株式会社松興の代表を務めております。

浅学菲才の身で緊張と不安の連続ですが、諸先輩方の活動をお手本にし、またご指導をいただきながらクラブの一員として名に恥じぬよう、気を引き締め精進してまいる所存です。何卒宜しくお願いします。

笑顔あふれたクリスマス例会

会員厚生委員長 宮下 知子



粉雪舞う12月20日、小さな赤いリボンのツリーが飾られた会場に、いつもよりちょっとお洒落をしておすまし顔のレオ8名とお客様、LP15名総勢74名にお集まりいただき「家族合同クリスマスパーティー」が開催されました。

東部中学校吹奏学部の2年生による趣向を凝らした紹介で、素敵なクリスマスソングを奏でていただきながらのオープニングの後は、「きよしこの夜」を合唱しパーティーの始まりです。

長野みすずLCの東方正道会長による乾杯「We Serve」



当クラブのホストで新年合同例会と祝賀会が盛大に開催

会員厚生委員長 宮下 知子



阿部守一県知事



佐藤義雄国際理事



山邊正重地区ガバナー



大田吉宝会長

戌年の始まりの1月12日にホテル国際21千歳の間で、山邊正重地区ガバナーはじめ総勢300名余の皆様にお集まりいただきて「334-E地区2R新年合同例会・祝賀会」が盛大に行われました。

ホストクラブとして、当クラブ大田吉宝会長のあいさつで例会が始まり、阿部守一県知事、佐藤義雄国際理事、山邊正重地区ガバナーからそれぞれ祝辞をいただきました。

祝賀会は、新年にふさわしく、明るく華やかな曲を次々と演奏する「坂本あゆみクラシック&ジャズカルテット」の皆様による演奏で幕開けとなりました。

樋口博副市长から祝辞を頂戴し、菅沼哲夫第1副地区ガバナーによる乾杯「We Serve」で宴がスタート、美味しいお食事とお酒に酔いしがながら、奉仕活動を共に行う仲間と

で美味しいお食事とお酒に舌鼓を打っている間にステージには、サンタさんが登場です。大きい声でお返事をしてくれたレオの中には、きょろきょろしながら「窓も煙突もないのにどこから入ってきたのかな?」という質問まで飛び出しました。

お楽しみのbingo大会の景品選びでは、レオだけでなく大勢の皆さんの笑顔があふれた、とても楽しいひとときとなりました。

皆様のご協力によりまして楽しい時間が過ごせました。誠にありがとうございました。



声高らかにライオンズ・ローア

の楽しいひとときを楽しみました。また、テール・ツイスターの登場によるドネーション「杏の御菓子」300個もあつという間に完売となりました。

仁科良三第2副地区ガバナーの発声でライオンズ・ローアを行い、2018年のさらなる活躍を誓い、宴の幕がおりました。

大勢の皆様の前で、岡宮清吉副委員長との司会は緊張しまくりで至らない点も多々ありましたが、皆様にご協力をいただいたことで大役を終えることができました。誠にありがとうございました。

日本・フィリピン 合同医療奉仕活動報告

2月8日より12日まで、第43回日本・フィリピン合同医療奉仕活動が行われ、当クラブからは9名と富士原雅博先生、池田憲吾先生が参加しました。

眼科チーム中心に各々が目薬の処方やタオルの配布を行いました。2日間の診察・治療人数は、内科4,232名、歯科1,210名、眼科1,429名、総合計6,871名でした。



3Zコミュニケーション ボウリング大会報告

PR委員長 中澤 和明

2月24日、ヤングファラオで当クラブがホストとなり「3Zコミュニケーションボウリング大会」が開催されました。

会員厚生委員会を中心に受付、表彰式の準備が整う中、参加させていただきました。

参加者は、6クラブから40名（当クラブ13名）で、和気あいあいの中熱戦が繰り広げられました。結果は当クラブが団体の部で優勝、個人でもL.桑原宜彦が優勝しました。

参加の皆様お疲れ様でした。



個人優勝で表彰のL.桑原(右)



ナイスプレーのL.飯島

女性シンポジウム参加報告

YCE・青少年指導レオ副委員長 高島 陽子

ライオンズクラブ国際協会334-E地区FWT女性シンポジウムが12月7日、長野市のホテルメトロポリタン長野で開かれました。「女性として輝いて素敵に生きるには」と題した第一部の講演には、蓮舫参議院議員をお招きし、県内の女性会員をはじめ、地区役員らが耳を傾けました。

白いスーツに身を包んで会場入りした蓮舫さんは、登壇するや、「久しぶりにあたたかな拍手をいただきました」と切り出し、聴衆側のフロアを見て「男性が前の4列にお座りになっていますね」と率直な印象を述べました。

国政に焦点を移し、「野党同士がいがみ合わず、行政監視を強めたり情報公開法を見直したりする必要がある」との姿勢を示しました。

双子の大学生を持つ母親としての思いを、「家を出る時に不良にかどわかれられないか、本当に帰って来るか、おかしな商法に引っかかるないか、いつも心配する」といい、家族が心から安心できる社会の在り方に言及。男女の未婚率の高さを示し、「政治では少子化が言い尽くされた感がある。財政出動は家計と一緒に。幼児教育無償化より待機児童に悩む課題



の解決だ」として、経済成長や財政再建のためにぶれずにやるべきことがあると、現政権の経済対策を批判し、お金が必要な人に回る経済政策への転換を訴えました。

第二部は「食でつながる ありがとう♪～女性として身近に出来る社会貢献～」をテーマに、中島恵理副知事らが『長野県の子ども・子育て支援施策と「信州子どもカフェ』などについて講演されました。